

確かな木材供給のための品質管理

～ 製材・乾燥等参加企業研修会の開催 ～



まず最初に、10社の木材企業さんの技術水準の向上と製品レベルの平準化を目的に、検査方法や含水率、ヤング係数測定、JAS等級、乾燥スケジュール、養生方法等の事項につきまして、林業総合センターにおいて技術研修会を行いました。

～ 含水率・ヤング係数の各社測定差異の確認調査 ～





次に同じカラマツ柱材30本を使用して、含水率およびヤング係数の各社における測定値の差異について確認調査を行いました。測定器械やグレーディングマシン等の測定方法の違いにより、どのくらい差異が出て各社の品質のバラツキがあるか確認したわけです。その結果、測定器具等により各社若干の差異はございましたが、品質管理上許容範囲内であることを確認しました。

～ 自主検査指導会(佐久市)～



また、自主検査の徹底を図るため、佐久市の製材工場において、実際に納材する木材で「自主検査指導会」を、全ての納材企業が集まり行いました。

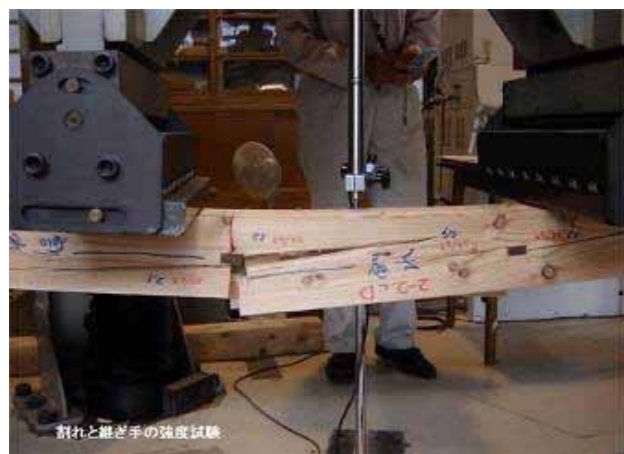
～ 製材・乾燥等の技術指導 ～



この他、それぞれの企業における工程ごとの製材、乾燥等の技術指導を、林業総合センター、信州の木利用推進チーム等により行っております。

～ 林業総合センターにおける各種試験 ～

- ・ 全乾法含水率試験
- ・ 静的曲げ係数試験
- ・ 継ぎ手強度試験
- ・ 壁試験(トラス強度試験)等



また、各部材の公的機関における抽出試験として、「全乾法含水率試験、静的曲げ係数試験、継ぎ手強度試験、トラス強度試験など」を林業総合センターで委託試験で行っております。